

2025年10月1日(水)

開場 14:00 / 開講 14:20

川越キャンパス グランツァール

〒350-0015 埼玉県川越市今泉 84 最寄り駅：JR 埼京線・川越線「南古谷」駅下車(徒歩 10 分)

ピアノ公開講座

チェンバロを知る

講師(演奏・お話)：大木和音(チェンバリスト) 狩野真(調律師)

1. チェンバロとは
2. バッハが活躍していた時代どんな音楽が好まれ聴かれていたの?
3. ピアノとは異なる演奏法
4. チェンバロとギター
5. フランス人とチェンバロ



大木和音(チェンバロ) Kazune Oki

東京藝術大学チェンバロ科、同大学修士課程修了。オランダ・ユトレヒト音楽院に留学、ソリスト・ディプロマを得て卒業。藝大『安宅賞』、第38回ブルージュ国際古楽コンクール・ディプロマ賞、第20回『上毛芸術文化賞』受賞。バロック音楽の再現だけでなく、コンテンポラリー音楽においてもアクティブに表現する。楽器の特性を感覚的に熟知し、音楽の呼吸と楽器の呼吸とを絶妙にコントロールしながら、自分の音楽を構築していく数少ないアーティスト。世のチェンバロに対する概念を覆す、溢れ出す表現力。色彩豊か且つ壮大な音楽性は、チェンバロの新たな可能性とバロック音楽の優美さを、現代に浮き彫りにした。これまでに J.S. バッハをはじめ、フランス作品集、スペイン名曲集など、計7作のソロ・アルバムをリリース。(ana/records 狩野真)

狩野真(調律師) Makoto Kano

1982年日本楽器ピアノテクニカルアカデミー3期卒業後、日本独自の手作りピアノを製作していた「大橋ピアノ研修所」で、大橋巖氏のアシスタントとして、ピアノの製造を学び1992年アルト・ノイ・アーティストサービスを立ち上げる。その後も、ノイペルト、ザスマンにてチェンバロ、フォルテピアノの研修、ドイツ・ベヒシュタイン本社にて研鑽を積む。1995年ベヒシュタイン総代理店のユーロピアノ株式会社技術部長を務める。現在は、有限会社アルト・ノイ・アーティストサービスの社長としてフランスのピアノ「ステファン・ポレロ」を始め、新しいピアノの可能性を追求している。また、イタリア・プロジェクトピアノ社と共同で「Sorrento」ピアノシリーズを発表。フランスのチェンバロ作家オリヴィエ・ファディーニ氏の楽器も手掛けている。



本学在学生以外の皆様へ

この公開講座は本学在学生以外の方でも聴講できます。【有料】

左のQRコードから、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。

聴講料：1,000円 / 申込期間(聴講料納入期間)9/1(月)～9/30(火)



【お問い合わせ先】東邦音楽大学 教務学生担当 TEL.049-235-2157